

わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち



岩手町 70周年記念号  
1955-2025





わたしたちが創る

笑顔がいっぱい

いわてまち



昭和30年7月21日、沼宮内町、川口村、一方井村、御堂村の一町三カ村が合併し「岩手町」が誕生しました。それから70年。本町は、時代の変化に対応しながら、歩みを止めることなく前進してまいりました。今、日本は、急速に進む人口減少社会の中で地方の多くの自治体が続の危機に瀕しつつあると言われてます。本町も例外ではなく、本町の人口は昭和35年の2万4773人をピークに年々減少し、今や半減し、過疎の町となっております。

このような社会情勢の中、本町は令和2年、内閣府より「SDGs未来越都市」に選定されました。あらゆる施策を通じて、本町の持続可能性を追求してまいります。

岩手町の誕生から70年の節目を迎え、本町は「わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち」を町の将来像に掲げ「地域への愛着・誇りの醸成」、「町のブランド化」、「持続可能性（SDGs）の追求」の3つの軸を各種施策に盛り込んでいきます。これからの、誇りを持って語ることができる「選ばれる町・いわてまち」の創造に全力を傾注したいと決意を新たにいたします。

現在の岩手町の姿は、一朝一夕に成し得たものではありません。町の皆さん一人一人がそれぞれの分野でたゆまぬ努力を重ね、英知を結集した成果であり、偉大な先人、先輩方



岩手町長 佐々木光司

の町への思いが結実した賜物であります。私たちは、その礎の上に立っていることを忘れてはなりません。これまで町政発展にご尽力、ご貢献くださった全ての皆さまに、あらためて深甚なる感謝の意を表します。

これからも希望の光を見失わず、岩手町に関わる全ての皆さまと共に、笑顔がいっぱいなまちづくりを進めてまいります。



1\_ 町民憲章を朗読した町内小中学校の代表児童・生徒 2\_ 岩手町誕生70年を祝い、約350人が出席 3\_ 沼宮内・川口中と音を楽しむ会合同による堂々とした演奏がオープニングを飾った 4\_ 式典後のアトラクションで講演したお笑い芸人の天津・木村さん 5\_ 町民歌斉唱をリードしたふるさと大使の柴田泰孝さんと町民合唱団 6\_ お笑い芸人と岩手町トークセッションが行われ、テーマごとにステージで盛り上がった

# 「ふるさと岩手町」70年の誇りを胸に

昭和30年に沼宮内町、川口村、一方井村、御堂村の一町三カ村が合併し「岩手町」が誕生してから、令和7年7月21日で70年を迎えました。町では記念式典を挙行。歴史の節目を祝うとともに、未来に向かって「笑顔がいっぱいのいわてまち」を町の皆さんとともに創りあげていく、新たな一歩を踏み出しました。

町70周年記念式典は7月26日、森のアリーナで行われました。国会議員、県議会議員、県、近隣市町長などの来賓の他、町関係者など約350人が出席し「岩手町」誕生70年を祝いました。

式典は「沼宮内中・川口中吹奏楽部、音を楽しむ会による合同演奏」で幕開け。はじめに、町勢発展のために尽力し、故人となった人たちへ黙とうを捧げました。その後、丹治輝さん（沼宮内中3年）、川口怜美さん（川口中3年）、田中悠菜さん（一方井中3年）、柳本悠舞さん（沼宮内小6年）、武田将明さん（川口小6年）、大久保榛真さん（一方井小6年）の6人による朗読に続き、出席者全員で町民憲章を唱和しました。

佐々木町長は「70年の歩みは、先人・先輩諸氏の獅子奮迅の働き、そして努力と英知の結集の賜物であります。先達が築いてこられた『農業』

『スポーツ』『アート』という本町が誇る3つの文化に磨きをかけながら『まちづくりはひとづくりである』ということを忘れずに、町の皆さまと心をつなげて、着実に歩みを進めてまいります」と式辞を述べました。

引き続き行われた記念表彰では、日蔭温子さんをはじめ、個人15人と5団体に佐々木町長が表彰状と記念品を贈呈。町勢の発展に尽力されたそれぞれの功績をたたえました。

式典の最後は、出席者全員で町民歌を斉唱。ふるさと大使の柴田泰孝さんと町民合唱団がリードして歌声をアリーナに響かせ「ふるさと岩手町」を思う心をつなぐ、節目の時を祝いました。

式典後のアトラクションでは、県内を中心に活躍するお笑い芸人の天津・木村さんが「移住して発見した岩手の魅力。三本柱で幸福感、あると思います！」と題し、岩手への移住や仕事を通じて感じたことを講演しました。移住のきっかけや岩手で感じた人の温かさを語り、得意の詩吟も披露。笑いを交えた講演で祝いの席に花を添えました。

また、岩手住みます芸人のアンダーエイジを加えて「岩手町トークセッション」も行われました。田んぼアートやホッケー、クラフトビールなど町の話題に触れ、会場を盛り上げました。

表彰 個人 15 人



ひかげ あつこ  
日蔭 温子 氏

町出身のプロゴルファーとしてゴルフ競技の技術向上に尽力され、日本プロゴルフ殿堂入りを果たした。



みんぶた いくお  
民部田 幾夫 氏

5 期 20 年にわたり、岩手町長として町の発展と地方自治の進展に寄与された。



さとう ひろきち  
佐藤 弘吉 氏

永きにわたり、町議会議員並びに議長として、町の推進と運営に尽力された。



まつもり きょういち  
松森 恭一 氏

永きにわたり、町代表監査委員として、町の推進と運営に尽力された。



はしもと すみお  
橋本 壽美男 氏

永きにわたり、町教育委員会教育委員長として教育行政の推進、町国際交流協会理事長として、国際交流の推進に寄与された。



まつもと りょうこ  
松本 良子 氏

永きにわたり、農業委員会委員並びに会長として、町の農業振興と町勢の発展に寄与された。



まつむら しょういち  
松村 昭一 氏

永きにわたり、町消防団員並びに団長として町民の生命と財産を守るとともに、団員資質の向上に尽力された。



たきぐち こういち  
滝口 幸一 氏

永きにわたり、町消防団員並びに副団長として町民の生命と財産を守るとともに、団員資質の向上に尽力された。



たけだ しょうぞう  
武田 昭藏 氏

永きにわたり、町消防団員並びに副団長として町民の生命と財産を守るとともに、団員資質の向上に尽力された。



さいとう すすむ  
齋藤 進 氏

永きにわたり、町消防団員並びに副団長として町民の生命と財産を守るとともに、団員資質の向上に尽力された。



せがわ みおる  
瀬川 實 氏

永きにわたり、町交通指導員並びに隊長として、安全なまちづくりのため交通安全の推進に寄与された。



こじま えいしゅう  
小島 英亮 氏

永きにわたり、町交通指導員として、安全なまちづくりのため交通安全の推進に寄与された。



くぼ のりお  
久保 憲雄 氏

新岩手農業協同組合代表理事組合長、J A 県五連会長等を歴任され、町の農業振興と町勢の発展に寄与された。



くろさわ きんいち  
黒澤 金一 氏

一方井土地改良区理事長、一方井地区営農組合長として、町の農業・農村振興の推進に尽力された。



たけだ きちろう  
武田 吉藏 氏

町商業協同組合理事並びに理事長として、町の商業振興の推進に尽力された。



町勢の発展に尽力、寄与された  
個人 15 人と 5 団体を記念表彰

記念式典では、長年にわたり町の特別職を務めるなど、町勢の発展に尽力された人をたたえる町 70 周年記念表彰が行われ、佐々木光司町長から受賞者に表彰状と記念品が贈られました。

受賞者の氏名・団体名と事績は、次のとおりです。

表彰 5 団体



町芸術文化協会  
（帷子 淳子 会長）

永きにわたり、芸術文化の振興を推進し、町の活性化と町勢の発展に尽力した。



町秋祭り  
実行委員会  
（八戸 保彦 会長）

永きにわたり、「岩手町秋祭り」を運営し、商工業の活性化や観光振興に大きく貢献した。



川口秋まつり  
実行委員会  
（佐藤 幸栄 副会長）

永きにわたり、「川口秋まつり」を運営し、商工業の活性化や観光振興に大きく貢献した。



町郷土芸能団体  
連絡協議会  
（遠藤 一彦 会長）

永きにわたり、郷土芸能の伝承等に積極的に取り組み、町の活性化と町勢の発展に尽力した。



町食生活改善  
推進員協議会  
（桒崎 富江 会長）

永きにわたり、健全な食生活の普及啓発や、食文化の継承に取り組み、町勢の発展に尽力した。

- 1996年度 平成8年度 10月 ● 新幹線工事で岩手一戸トンネル御堂工区が本格着工
- 1993年度 平成5年度 7月 ● 石神の丘美術館オープン
- 1992年度 平成4年度 10月 ● 国民文化祭石彫展が石神の丘美術館で開催
- 1989年度 平成元年度 9月 ● 県内初の人工芝ホッケー競技場完成
- 1986年度 昭和61年度 10月 ● 初の町民栄誉賞にプロゴルファー日蔭温子氏
- 1984年度 昭和59年度 4月 ● 町宮野球場が完成
- 1982年度 昭和57年度 9月 ● 北海道国体ホッケー競技で悲願の総合優勝
- 1981年度 昭和56年度 10月 ● 町の保健推進事業が評価され厚生大臣表彰を受賞
- 1976年度 昭和51年度 3月 ● 東北新幹線盛岡以北ルート発表。岩手町(沼宮内)に停車駅設置決定
- 1975年度 昭和50年度 5月 ● 岩手・玉山斎場「浄霊苑」完成
- 1974年度 昭和49年度 10月 ● 皇太子・同妃殿下「来町。町民ホッケー大会、特産品」観覧
- 1972年度 昭和47年度 2月 ● 町の花木鳥をりんどろ、御堂松、きじに決定
- 1970年度 昭和45年度 6月 ● 町民憲章制定
- 1968年度 昭和43年度 7月 ● 「健康・体力づくり推進の町」宣言を町議会で議決
- 1967年度 昭和42年度 3月 ● 町民憲章制定
- 1966年度 昭和41年度 5月 ● 「健康・体力づくり推進の町」宣言を町議会で議決
- 1964年度 昭和39年度 7月 ● 「健康・体力づくり推進の町」宣言を町議会で議決
- 1960年度 昭和35年度 5月 ● 町民憲章制定
- 1958年度 昭和33年度 10月 ● 町民憲章制定
- 1956年度 昭和31年度 7月 ● 町民憲章制定
- 1955年度 昭和30年度 7月 ● 沼宮内町、御堂村、一方井村、川口村の一町三カ村が合併し「岩手町」となる
- 8月 ● 町長選挙で田中富蔵氏当選、初代町長となる
- 2月 ● 県下一を誇る簡易水道が沼宮内地区に完成
- 9月 ● 台風21号が町内に甚大な被害をもたらす
- 12月 ● 沼宮内小で初の完全給食
- 5月 ● 北岩手衛生処理組合が発足
- 4月 ● 北岩手衛生処理組合のし尿処理場が完成
- 5月 ● 町宮牧野開設
- 4月 ● 岩手町、玉山村共同のごみ焼却場が完成
- 4月 ● 町水道事業所が業務開始
- 5月 ● 十勝沖地震で家屋16戸全半壊
- 6月 ● 町学校給食センターが完成(13校完全給食)
- 10月 ● 天皇・皇后両陛下「ご臨席のもと、第25回国民体育大会ホッケー競技が町総合グラウンドで開催。総合第2位
- 11月 ● 第1回町民ホッケー大会開催



第1回健康まつりであいさつする田中幸平町長、保健推進の活動が評価され町は平成元年10月に厚生大臣表彰を受賞した



柴田嗣郎町長(左)の案内で特産品を観覧される皇太子ご夫妻(上上天皇・上皇后両陛下)(昭和59年10月14日、役場町民ホール)



石神の丘美術館オープンを祝う関係者たち。東北の新たな文化発信基地として「彫刻のある町」を全国へアピールした(平成5年7月2日)



テープカットで沼宮内バイパス全線開通を祝う関係者(昭和49年5月11日)



町ぐるみの健康体力づくりが高い評価を受け第18回体力づくり運動推進全国大会で内閣総理大臣賞を受賞。宮田九八町長(右)が表彰状を受領(昭和51年10月)



町制施行10周年の記念式典であいさつする内藤直造町長(昭和40年7月21日、沼宮内小体育館)



当町で開催された岩手国体ホッケー競技を観戦のため来町された昭和天皇・皇后両陛下(昭和45年10月12日、町総合グラウンド)

岩手町で初めて完全給食が行われた沼宮内小。学校給食は他校へも順次広がり、町の子どもの体力は向上した(昭和35年12月)

台風一過の町内。浸水した水が引くにつれて台風21号の大きなつめ痕が現れた(昭和33年9月)



強風と豪雨を伴った台風21号で町内の河川が氾濫。橋や家屋の流失、山崩れなど町内に甚大な被害を与えた(昭和33年9月)



一町三カ村の合併に伴い新生「岩手町」の役場庁舎として利用された旧沼宮内町役場庁舎



岩手町誕生を祝い開催された仮装大会で審査員を務める田中富蔵町長(奥の左から4人目)(昭和30年)

2014  
年度  
平成26年度

- 3月 ● 浮島小が閉校。64年の歴史に幕(22日)
- 5月 ● 北山形崩地区、岩手町・葛巻町境で相次いで林野火災が発生(15日・30日)
- 4月 ● 平成24・25年度の2カ年で整備した町防災行政無線の運用を開始(2日)
- 3月 ● 横田児童館が閉館(22日)
- 9月 ● 防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞



田中泉樹さんがロンドン五輪女子ホッケー日本代表に選出。ホッケーのまち・岩手町の皆さんに希望と感動をもたらした功績をたたえ町民栄誉賞を授与(平成24年9月24日)



平成22年7月の町北部を襲った豪雨災害における救助活動や水防活動により、人命の安全確保と被害軽減の功績により岩手町消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞(平成24年9月)



岩手町の山林で相次いで林野火災が発生。北山形崩地区や岩手町・葛巻町境の大規模な林野火災では、岩手町消防団や岩手県、自衛隊などが消火活動を展開(平成26年5月)

2012  
年度  
平成24年度

- 6月 ● ロンドン五輪女子ホッケー日本代表に田中泉樹さんが選出(14日)、



新たなスポーツ・芸術文化施設として岩手町スポーツ文化センターが平成23年にオープン。「森のアリーナ」の愛称で親しまれている



土川出身で岩手町ふるさと大使の岩崎茂さんが防衛省統合幕僚監部の統合幕僚長に就任(平成24年1月31日)

2011  
年度  
平成23年度

- 1月 ● 町ふるさと大使の岩崎茂氏が自衛官の最高位、統合幕僚長に就任(31日)
- 5月 ● 町スポーツ文化センター完成を祝い竣工式を開催。愛称「森のアリーナ」に決定(22日)
- 3月 ● 東日本大震災が発生。町内では、停電や断水が発生し、燃料などの物資が不足した(11日)

2010  
年度  
平成22年度

- 7月 ● 町北部に局地的豪雨。



小沢みさきさんが北京五輪女子ホッケー日本代表に選出。岩手町出身者として初めてのホッケー五輪選手としての功績をたたえ町民栄誉賞を授与(平成20年10月11日)



岩手町北部(横沢地区)を襲ったゲリラ豪雨では、住宅の浸水や田畑、道路などに甚大な被害をもたらした(平成22年7月17日)

2009  
年度  
平成21年度

- 10月 ● 水堀保育所が新築移転(18日)

- 3月 ● 南山形小が閉校。130年の歴史に幕(21日)

2008  
年度  
平成20年度

- 6月 ● 北京五輪女子ホッケー日本代表に小沢みさきさんが選出(9日)、町初の五輪選手として町民栄誉賞を授与(10月11日)

2007  
年度  
平成19年度

- 3月 ● 南山形保育所が閉所(22日)
- 4月 ● 川口保育所が新築移転。子育て支援センターが併設され、新たな子育て支援サービスがスタート(4日)
- 8月 ● 各分野の第一線で活躍する町ゆかりの10人を「町ふるさと大使」に委嘱(25日)
- 12月 ● 町特産キャベツ「いわて春みどり」の販売額10億円達成を記念し祝賀会が開催される(12日)



東北新幹線いわて沼宮内駅が開業(平成14年12月1日)



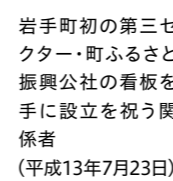
北上川の源泉・ゆはずの泉周辺に整備された川の駅。流域連携のシンボルとして北上川流域に暮らす人々をつなぐ(平成16年6月27日)



町制施行50周年記念式典開催(平成17年7月21日沼宮内小体育館)

2006  
年度  
平成18年度

- 10月 ● 岩手町方式のがん検診事業の取り組みが高く評価され、国内で最も権威ある「保健文化賞」を受賞(4日)
- 12月 ● 町特産キャベツ「いわて春みどり」の販売額10億円達成を記念し祝賀会が開催される(12日)



岩手町初の第三セクター・町ふるさと振興公社の看板を手に設立を祝う関係者(平成13年7月23日)



国道4号沿いに平成14年7月にオープン。町の物産観光や情報発信の拠点として大きな役割を果たしている道の駅「石神の丘」

2005  
年度  
平成17年度

- 7月 ● 町制施行50周年記念式典を開催



図書館・公民館・児童館の3機能を複合した「ゆはず交流館」がオープン。テープカットで生涯学習の拠点施設誕生を祝った(平成11年6月1日)

2004  
年度  
平成16年度

- 6月 ● 御堂地区に「北上川源泉いわてまち川の駅」がオープン

- 10月 ● 岩手広域交流センター「プラザあい」がオープン
- 12月 ● 東北新幹線盛岡―八戸間開通



地元開催のインターハイ優勝を喜ぶ沼宮内高の選手(平成11年8月6日)

2002  
年度  
平成14年度

- 4月 ● 町初の公共下水道が沼宮内地区の一部地域で使用開始
- 7月 ● 道の駅「石神の丘」がオープン

2001  
年度  
平成13年度

- 7月 ● 町初の第三セクター「岩手町ふるさと振興公社」設立
- 12月 ● 中心商店街大町地区に街の駅「よりーじゅ」がオープン

1999  
年度  
平成11年度

- 6月 ● 図書館、児童館、公民館を複合した「ゆはず交流館」がオープン
- 8月 ● インターハイのホッケー競技が本町で開催。沼宮内高男子が全国制覇。高総体県勢5連覇の快挙

# 岩手町 10年の軌跡

# 2015-2025

2015年度

平成27年度

- 5月 ● 道の駅「石神の丘」が、東北道の駅大賞に輝く
- 7月 ● 岩手町町制施行60周年記念式典を開催
- 8月 ● 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会(熊本県)で、男子の川口ホッケースポーツ少年団が初優勝。女子の水堀・沼宮内ホッケースポーツ少年団が準優勝
- 9月 ● 岩手町消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
- 3月 ● 北山形小、岩瀬張小、東部中が閉校。それぞれ138年、110年、26年の歴史に幕を閉じる

2016年度

平成28年度

- 10月 ● 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」開催。町ではホッケー競技とゴルフ競技を開催し、ホッケーでは、少年女子が準優勝、少年男子第3位、成年男子第5位に輝く
- 2月 ● 葛巻町、雫石町とともに3町自治体サミットを森のアリーナで開催。町づくりへの決意と地域活性化への思いを共有
- 3月 ● 心豊かに生活できる環境の実現をめざし、町の買い物支援事業として移動販売車の運行を開始

2017年度

平成29年度

- 7月 ● 町内外の企業人や経済人を招いて、町の魅力を満喫してもらおうと町産業経済人ネットワーク事業「食彩のまちそのまんまツアー」を開催
- 8月 ● 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会山口県で女子の水堀・沼宮内ホッケースポーツ少年団が優勝
- 10月 ● 第72回国民体育大会「2017愛顔つなぐえひめ国体」ホッケー競技で沼宮内高と不来方高から選抜された少年男子岩手県代表が17年ぶり10回目の国体優勝
- 新たな生活交通「あいあいバス」と「あいあいタクシー」の運行を開始
- 3月 ● 水堀小が127年の歴史に終止符を打ち、閉校

2018年度

平成30年度

- 5月 ● 町長選挙で佐々木光司氏が初当選
- 7月 ● 盛岡中央消防署岩手分署の新庁舎が完成
- 9月 ● 第18回アジア競技大会ホッケー競技で日本代表が男女そろって優勝。男子代表の田中海渡さん、女子代表の及川菜さん、瀬川真帆さんが優勝に貢献
- 2月 ● 岩手町ブルーベリーワイン「ルルとリリ」が新発売
- 3月 ● 久保小が137年の歴史に終止符を打ち、閉校
- 5月 ● 町ゆかりの元宝塚歌劇団のスター・園井恵子さんが宝塚歌劇の殿堂入り

2019年度

令和元年度

- 6月 ● 町ホッケー場に五輪仕様の人工芝を導入
- 7月 ● 内閣府が定める「SDGs未来都市」に選定される
- 全世界で新型コロナウイルス感染拡大し、全国的に催し、大会が軒並み中止に
- 9月 ● 石神の丘美術館屋外展示リニューアル完了(令和3年6月グランドリニューアルオープン)
- 3月 ● 町特産キャベツ「いわて春みどり」の販売額が過去最高の19億6千万円を突破。祝賀会が開催される

2020年度

令和2年度

- 6月 ● 町ホッケー場に五輪仕様の人工芝を導入
- 7月 ● 内閣府が定める「SDGs未来都市」に選定される
- 全世界で新型コロナウイルス感染拡大し、全国的に催し、大会が軒並み中止に
- 9月 ● 石神の丘美術館屋外展示リニューアル完了(令和3年6月グランドリニューアルオープン)
- 3月 ● 町特産キャベツ「いわて春みどり」の販売額が過去最高の19億6千万円を突破。祝賀会が開催される
- 6月 ● 東京五輪聖火リレーが行われ、10人のランナーが聖火をいわて沼宮内駅から沼宮内小までの区間をつなぐ
- 7月 ● 町ホッケー場でアイルランド女子ホッケーチームが東京五輪事前キャンプ
- 東京五輪女子ホッケー日本代表に及川菜さん、瀬川真帆さん、男子ホッケー日本代表に田中海渡さんが選出。功績をたたえ、町民栄誉賞を授与(3月)

2021年度

令和3年度

- 6月 ● 東京五輪聖火リレーが行われ、10人のランナーが聖火をいわて沼宮内駅から沼宮内小までの区間をつなぐ
- 7月 ● 町ホッケー場でアイルランド女子ホッケーチームが東京五輪事前キャンプ
- 東京五輪女子ホッケー日本代表に及川菜さん、瀬川真帆さん、男子ホッケー日本代表に田中海渡さんが選出。功績をたたえ、町民栄誉賞を授与(3月)

2022年度

令和4年度

- 5月 ● 町長選挙で佐々木光司氏が2選
- 7月 ● 誘致企業(株)ジャパンファームの第1養鶏場が豊岡地区に完成
- 8月 ● 記録的な集中豪雨。町内各地で土石流やがけ崩れのほか、6戸が床下浸水
- 第1回アイルランドフェスティバルを開催
- 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会(東京都)で、男子のいわてホッケースポーツ少年団が初優勝。女子のいわてホッケースポーツ少年団が3位
- 11月 ● 全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会で、岩手県選抜男子が12年ぶり5度目の優勝、女子が準優勝
- 12月 ● いわて沼宮内駅・岩手広域交流センター「プラザあい」が開業20周年
- 3月 ● 沼宮内高の生徒をアイルランドとの交流親善大使に任命。訪問交流事業がスタート

2023年度

令和5年度

- 8月 ● 全日本中学生ホッケー選手権大会で岩手U-15ホッケークラブ男子が準優勝(同クラブは休日の公立中学校運動部活動地域移行の一環として、同年4月に設立)
- 10月 ● 第50回日本橋・京橋まつりに町観光協会の風流山車が初参加
- 11月 ● 日本ホッケー協会公認のホッケータウンに認定される
- 沼宮内小が創立150周年記念式典を開催
- 1月 ● 地域商社(一社)つなぐ・いわてまちが設立
- 3月 ● コンビニで住民票の写しなどが取得できる「コンビニ交付」が開始
- プログルファアの日蔭温子さんが日本プロゴルフ殿堂入りを果たす

2024年度

令和6年度

- 4月 ● 国の認可を得て、プラスチックごみの分別収集を開始
- 7月 ● パリ五輪女子ホッケー日本代表に及川菜さん(2大会連続)、田中彩樹さんが選出。功績をたたえ、町民栄誉賞を授与(12月)
- 8月 ● パリ・パラ五輪自転車競技(競技・パートナー)日本代表に三浦生誠さんが選出。
- 岩手町フューチャーセンター「コワーキング棟」が稼働
- 9月 ● 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会(東京都)で、女子のいわてホッケースポーツ少年団が初優勝。男子のいわてホッケースポーツ少年団が3位
- 10月 ● アイルランドのマウントテンブル総合高から生徒4人が来町。約2週間、ホームステイをして交流を深める
- 9月 ● 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会(東京都)で、女子のいわてホッケースポーツ少年団が初優勝。男子のいわてホッケースポーツ少年団が3位
- 10月 ● アイルランドのマウントテンブル総合高から生徒4人が来町。約2週間、ホームステイをして交流を深める
- 11月 ● 川口小が創立150周年記念式典を開催
- 2月 ● 「いわてまち学」を実施している川口中がキャリア教育の優良校として文部科学大臣賞受賞
- 3月 ● 岩手町フューチャーセンター「エントランス棟」完成

2025年度

令和7年度

- 7月 ● 岩手町70周年記念式典開催
- 8月 ● 東北SDGs未来都市サミットin岩手町を開催(22日・23日)
- 9月 ● 統合新設中学校名が「北泉中」に決定。町立沼宮内中、川口中、一方井中の3校が統合し、令和10年4月1日から開校予定
- 10月 ● 国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ2025」ホッケー競技で、沼宮内高と南島みらい高から選抜された少年男子岩手県代表が8年ぶり11度目の優勝(単独では25年ぶり)

## 2024年度 7月 パリ五輪に2人が選出、町民栄誉賞を授与

パリ五輪ホッケー競技女子日本代表「さくらジャパン」に及川菜さんと田中彩樹さんが選出。功績をたたえ、2人に町民栄誉賞を授与

## 2024年度 8月 パリ・パラ五輪に1人が選出、町民栄誉賞を授与

パリ・パラ五輪自転車競技の競技パートナーに三浦生誠さんが選出。功績をたたえ、町民栄誉賞を授与



## 2024年度 10月 アイルランドから高校生が来町

アイルランドのマウントプル総合高校から生徒4人が来町し、交流を深めた



## 2025年度 10月 滋賀国体ホッケー競技少年男子 岩手県代表が優勝

国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ2025」ホッケー競技で少年男子岩手県代表(沼宮内高と南昌みらい高選抜チーム)が8年ぶり11度目の全国制覇



## 2022年度 2月 アイルランド訪問交流事業スタート

沼宮内高生徒を交流親善大使に任命。アイルランド首都ダブリンを訪れるなど訪問交流事業がスタート



## 2023年度 1月 つなぐいわてまち設立

町の産業を活性化させて地域振興の推進を図ろうと、町と商工会、3つの地方銀行、鉄道会社の6者が連携して、地域商社(一社)つなぐ・いわてまちが設立



## 2024年度 4月 プラスチックごみの分別収集

リサイクルの新たな取り組みとして、県内で初めてとなるプラスチックごみの分別収集を開始

## 2024年度 7月 町フューチャーセンター「コワーキング棟」が稼働

起業や創業活動の場、移住定住の受け入れや新しい取り組みの場など、多様な地域の活性化を支援することを目的に、町フューチャーセンターコワーキング棟が本格稼働

## 2024年度 3月 町フューチャーセンター 「エントランス棟」完成

まちづくりやチャレンジを応援する場所として、町フューチャーセンター「エントランス棟」完成



## 2020年度 9月 石神の丘美術館リニューアル

自然と芸術を楽しめる空間で豊かな時間と貴重な体験を得られる場を目指し、石神の丘美術館をリニューアルオープン



## 2021年度 7月 東京五輪に3人が選出、町民栄誉賞を授与

東京五輪ホッケー競技日本代表に、町出身の田中海渡さん、及川菜さん、瀬川真帆さんが選出。功績をたたえ、町民栄誉賞を授与(3月)



## 2021年度 7月 アイルランド五輪事前キャンプ

東京五輪ホッケー競技に向け事前合宿を行うアイルランド女子代表チームを、町の皆さんで歓迎



## 2016年度 10月 岩手国体ホッケー競技と ゴルフ競技

希望郷岩手国体が行われ、町ではホッケー競技(町総合グラウンド)とゴルフ競技(岩手沼宮内カントリークラブ)が開催された



## 2017年度 10月 あいあいバス・あいあいタクシーの運行開始

生活交通の取り組みとして、新たに「あいあいバス」と「あいあいタクシー」が運行開始



## 2020年度 7月 SDGs未来都市に選定

持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて優れた取り組みを進める自治体として内閣府から「SDGs未来都市」に選定



# 岩手町70周年記念冠事業

- 町70周年記念事業  
令和7年度岩手町消防演習
- 町70周年記念事業  
第31回岩手町夏まつり
- 町70周年記念シンポジウム  
東北SDGs未来都市サミット  
in岩手町
- 町70周年記念事業  
岩手町クラフト市2025
- 町70周年記念事業  
第32回石神の丘美術館杯  
ゲートボール大会
- 町70周年記念事業  
岩手町秋まつり
- 町70周年記念事業  
第56回町民ホッケー大会
- 町70周年記念事業  
いわてまちスポーツDAY  
(第55回町民体育祭)

- 町70周年記念事業  
第43回岩手町産業まつり
- 町70周年記念事業  
第64回岩手町芸術祭
- 町70周年記念事業  
第47回岩手町郷土芸能発表会
- 町70周年記念事業  
第52回町民卓球大会
- 町70周年記念事業  
第52回岩手町元日健康マラソン大会
- 町70周年記念事業  
令和8年岩手町消防出初式
- 町70周年記念事業  
いわてまちイルミネーション  
2026「冬の花畑」
- 町70周年記念事業  
岩手町チャレンジCUP
- 町70周年記念事業  
第21回まんぷくそばフェスタ

令和7年10月3日～5日 開催  
岩手町秋まつり



町70周年を祝った横断幕がパレードを練り歩いた

令和7年9月13日～14日 開催  
岩手町クラフト市2025



2日間で約7千人が訪れ、にぎわいを見せた大町商店街

令和7年10月18日～19日 開催  
第43回岩手町産業まつり



町70周年にちなんだ各種イベントなどが行われた

令和7年10月12日 開催  
第56回町民ホッケー大会



全国で活躍した名プレイヤーたちが熱戦を繰り広げた

令和7年11月16日 開催  
第47回岩手町郷土芸能発表会



特別出演した早池峰神楽「岳神楽」(花巻市)が勇壮な舞を披露

令和7年11月9日 開催  
第64回岩手町芸術祭(舞台部門)



町70周年を記念し、祝舞長唄「七福神」が披露された

令和7年8月22日～23日 開催  
東北SDGs未来都市サミットin岩手町



共同宣言を手に、未来を拓く決意を新たにした

令和7年6月8日 開催  
令和7年度岩手町消防演習



威風堂々とした団員の分列行進



## 町民憲章 (昭和50年7月21日制定)

わたくしたちは、北上川の源泉岩手町の町民です。  
わたくしたちのまちは、水と緑の大自然にめぐまれ  
先人の努力によって、きたかみの流れとともに発展をつづけているまちです。  
わたくしたちは、このまちの町民であることに誇りをもち、  
よりよいまちの創造と、おたがいのしあわせをねがい、  
りっぱな町民となるため、ここに町民憲章をさだめます。

- 一、郷土を愛し、住みよいまちをつくります。
- 一、自然をたいせつにし、美しいまちをつくります。
- 一、働くことを誇りとし、力づよいまちをつくります。
- 一、たがいに協力し、人情豊かなまちをつくります。
- 一、先人の偉業をたたえ、高い文化のまちをつくります。



発行／岩手県岩手町

**岩手町 70周年記念号 1955-2025**

発行／岩手県岩手町

〒028-4395 岩手県岩手郡岩手町大字五日市第10地割44番地

Tel.0195-62-2111 fax.0195-62-3104

編集／岩手町企画商工課

印刷／川口印刷工業株式会社